

校訓



平和・自律・創造

令和8年1月8日発行  
つるぎ町立半田中学校  
校長 手塚 博也  
第 11 号



## 気持ちを新たに

～ 「有終の美」を目指して ～

【3学期始業式（校長講話より抜粋）】

新年を迎え、卒業式まであと2ヶ月、修了式まであと2ヶ月半となりました。特に、3年生は目前に高校入試を控え、学校生活もやや慌ただしく感じられます。昔から、「1月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われているように、あっという間に月日は過ぎ去ってしまいそうです。そうならないように、3学期を1年間の総まとめの学期と位置づけています。今学期のスローガンは「気持ちを新たに、有終の美を目指して」です。

「有終の美」とは、中国で最も古い詩集の中にある「初め有らざるなし よく終わり有る鮮(すくな)し」という言葉が語源といわれています。「初めは、誰もが計画を立てて一生懸命に頑張るが、それを最後までやり遂げる人は少ない」という意味です。

皆さんは、去年の4月に進級したとき、学習や学校生活、部活動等で新たな目標を各自で立てました。今、その目標にどれだけ近づいているでしょうか。どの程度達成できているでしょうか。

ただ、達成できていないからといって、あきらめる必要はありません。大人の私たちだって、目標や計画を100%達成できる人はそんなに多くはいません。だからこそ、皆さんには、自分で立てた目標や計画の実現に向けて、最後まで全力で取り組み、努力を続けてほしいと願っています。たとえ100%達成できなくても、あきらめないで最後までやろうとする気持ちや努力が、次に何かに取り組むときの力になり、次の目標に向かう原動力になるに違いありません。

ところで、ホンダ自動車会社を知っていますか。自動車だけでなく、バイク等も作っている会社です。ホンダの創業者である本田宗一郎氏は、「良い製品はきれいな職場から生まれる」と言って、ホンダの作業着を白色に決めたそうです。1952年5月のことですから、今から70年以上も前の話です。普通に考えれば、汚れが目立ちにくい色を選びそうですが、わざわざ汚れが目立つ白を選んでいます。でも、だからこそ工場で働く人は作業着を汚さないように気をつけ、そのうち機械本体も汚さないように気をつけるようになったといいます。ホンダの作業着は、今でも白色です。

汚い教室では、豊かな学びは創れません。汚い部屋やグラウンドでは、  
強いチームは作れません。汚い学校では、優しい心は育ちません。

年の初めの1月、気持ちを新たに、全校で「有終の美」を目指して、  
目標達成に取り組み、環境整備も進めていきましょう。先生方は、そのための良き伴走者に務め、精一杯応援していきます。

今年もよろしくお願いします。

